

大和市条例第11号

大和市国民健康保険条例の一部を改正する条例をここに公布する。

令和2年4月2日

大和市長 大 木 哲

大和市条例第11号

大和市国民健康保険条例の一部を改正する条例

大和市国民健康保険条例（昭和34年大和市条例第6号）の一部を次のように改正する。

第10条中「第72条の4」を「第72条の5」に改める。

附則に次の見出し及び6項を加える。

（新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金）

- 6 給与等（所得税法（昭和40年法律第33号）第28条第1項に規定する給与等をいい、賞与（健康保険法第3条第6項に規定する賞与をいう。）を除く。以下同じ。）の支払を受けている被保険者が療養（新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）附則第1条の2第1項に規定する新型コロナウイルス感染症に感染したこと又は発熱等の症状があり当該感染症の感染が疑われることによる場合に限る。）のため労務に服することができないときは、その労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日（以下「支給開始日」という。）から労務に服することができない期間のうち労務に服することを予定していた日について、当該被保険者の属する世帯の世帯主に対し、傷病手当金を支給する。
- 7 傷病手当金の額は、1日につき、支給開始日の属する月の前月以前の直近の継続した3月間の給与等の収入の額の合計額を就労日数で除して得た額（その額に、5円未満の端数があるときはこれを切り捨て、5円以上10円未満の端数があるときはこれを10円に切り上げるものとする。）の3分の2に相当する額（その額に、50銭未満の端数があるときはこれを切り捨て、50銭以上1円未満の端数があるときはこれを1円に切り上げるものとする。）とする。ただし、健康保険法第40条第1項に規定する標準報酬月額等級のうちの最高等級の標準報酬月額の30分の1に相当する額（その額に、5円未満の端数があるときはこれを切り捨て、5円以上10円未満の端数があるときはこれを10円に切り上げるものとする。）の3分の2に相当する額（その額に、50

銭未満の端数があるときはこれを切り捨て、50銭以上1円未満の端数があるときはこれを1円に切り上げるものとする。)を超えるときは、その額とする。

- 8 傷病手当金の支給期間は、支給開始日から起算して1年6月を超えないものとする。
(新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金と給与等との調整)
- 9 附則第6項の期間について、給与等の全部又は一部の支払を受けることができる者に対しては、これを受けることができる期間は、傷病手当金を支給しない。ただし、その一部の支払を受けることができる給与等の額が、附則第7項の規定により算定される額より少ないときは、その差額を支給する。
- 10 附則第6項の期間について、同一の事由につき、労働基準法（昭和22年法律第49号）第76条の規定による休業補償若しくは労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号）第14条第1項の規定による休業補償給付及び同法第22条の2第1項の規定による休業給付を受けることができる者又はこれらの法律以外の法令により国若しくは地方公共団体の負担において給与等の補償に関する給付を受けることができる者に対しては、これを受けることができる期間は、傷病手当金を支給しない。ただし、その受けることができる額が、附則第7項の規定により算定される額より少ないときは、その差額を支給する。
- 11 附則第6項、第9項ただし書及び前項ただし書の規定にかかわらず、傷病手当金の支給は、同一の事由につき、健康保険法、船員保険法、国家公務員共済組合法、地方公務員等共済組合法又は高齢者の医療の確保に関する法律の規定により、これに相当する給付を受けることができる場合には行わない。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、改正後の附則第6項から第11項までの規定は、附則第6項の支給開始日が令和2年1月1日から規則で定める日までの間に属する場合に適用する。

